

# ～山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム～

## 起業家育成プログラム(リーン・マネジメントコース) 日程表

テーマ	講義	内容	時間	日時
<b>開校式</b>			<b>小計</b>	<b>2</b>
開校式	開校式	開校式	1	8/4(火)
	オリエンテーション	事務連絡、自己紹介	1	
<b>講義</b>			<b>小計</b>	<b>60</b>
リーン マネジメント	リーン・マネジメント	環境変化とこれからのリーダーシップ 時代に即したビジネスモデル 組織、役割、コミュニケーション リーン・スタートアップ 社員教育でアントレプレナーシップ	4	8/25(火)
	コミュニケーション	聞く、話す、傾聴	4	9/1(火)
	全体最適と見える化	ボトルネックの解消による全体最適化	2	9/8(火)
	経営数字で見える改善	会計の見える化、儲けるための会計 科学的な経営、事業性評価	2	
	リードタイム短縮による経営改善	新山形大学方式 B/S、P/Lの見える化 モノと情報の流れ図(VSM)、動線(レイアウト)	4	9/15(火)
	マネジメント概論	6つの動機 トータルモチベーション(ToMo) 管理の見える化 スクラム、かんぱんボード、ワークフロー	4	9/29(火)
リーン生産	リーン生産方式	ムダを省いて価値を高める 人・モノ・時間のムダ リードタイム短縮・在庫量削減・直行率向上	4	10/6(火)
	新山形大学メソッド	ビジネスモデル、B/S、P/L VSM、動線 異常管理	4	10/13(火)
	線の改善	多品種少量生産の為に良い流れの動線を作る モノと人の動線 レイアウト改善の効果	4	10/20(火)
	点の改善	ECRS、作業時間分析、動作経済の原則、 マンマシンチャート 5S・3定	4	10/27(火)
	VSMの活かし方	ものど情報の流れ図(現状、あるべき姿) 改善ストーリー ケーススタディ	4	11/10(火)
問題解決の ステップ	問題を解決するには	組織としての「困りごと」と「背景」を理解する	5	11/17(火)
	現状を正しくつかむ	VSMや動線図などのツールを使って現状を明らかにする	5	11/24(火)
	ゴールを描く/ギャップ分析	ゴール・コンディション/ギャップ分析	5	12/1(火)
	対策と実行	複数の対策案を立案し、実行計画を立てて実行する 実行の後を見る	5	12/8(火)
<b>修了式</b>			<b>小計</b>	<b>3</b>
修了式	成果発表会	成果報告	2	12/15(火)
	修了式	修了証書授与	1	
<b>合計</b>			<b>65</b>	